

## 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業

### ①「圏域全体の経済成長のけん引」に関する事業

都市圏域の多様な資源・企業・人材を動員し、連携中枢都市が成長のエンジンとなって、地方の経済成長をけん引するための事業に取り組みます。

取り組みに当たり、播磨圏域の産学官民（※1）で構成する播磨圏域経済成長戦略会議において、圏域の経済成長戦略を策定しました。

#### 「はりま・ものづくり力」の強化

- ①革新的イノベーションにチャレンジする企業への支援
- ②製造業の基盤強化
- ③起業家の創出と第二創業の支援
- ④産学官連携の支援

#### 「エコピアはりま」の推進

- ①水素社会（※2）に向けた取り組みの推進
- ②バイオマス産業都市構想の研究
- ③再生可能エネルギー等の地産地消の推進

#### 「はりま地域ブランド」の確立

- ①地域ブランドの育成
- ②播磨地場産品の販路拡大
- ③農商工等連携の推進

#### 「はりまグランドツーリズム」の展開

- ①圏域内広域観光連携の推進
- ②外国人観光客の誘致活動
- ③プロモーションやファミツアー（※3）の実施
- ④集客力のあるイベントの開催

#### 「魅せるはりま」MICE（※4）の推進

- ①経済波及効果・情報発信力の高い国際会議等の誘致と圏域内への誘客

### ②「高次の都市機能の集積・強化」に関する事業

都市圏域全体に対する高度・専門的なサービスを提供し、グローバルな人材が集まっていく環境を構築するための事業に取り組みます。

#### 高度な医療サービスの提供

- 三次救急医療機関への運営支援など

#### 高度な中心拠点の整備等

- 姫路駅周辺整備事業の推進など

#### 高等教育・研究開発の環境整備

- 姫路市内の大学及び連携大学支援など

### ③「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に関する事業

都市圏域全体の利便性を向上し、近隣市町の住民ニーズに対応するための事業に取り組みます。

#### 生活機能の強化

- スポーツ振興に伴う住民交流
- 文化芸術活動の推進
- 図書館相互利用促進

#### 結びつきやネットワークの強化

- 広域連携バス路線等の維持・形成
- 移住・定住促進など

#### 圏域マネジメント能力の強化

- 連携市町との人事交流
- 職員研修など

#### 用語説明

- （※1）産学官民・・・企業、大学・研究機関、金融機関、地方公共団体等  
 （※2）水素社会・・・水素を日常の生活や産業活動で利活用する社会  
 （※3）ファミツアー・・・旅行業界関係者等を対象とした現地視察ツアー  
 （※4）MICE・・・国際会議や展示会、大会等、多くの集客交流が見込まれるイベント等の総称

# 播磨圏域8市8町による 「連携中枢都市圏構想」 の推進



市では、昨年12月21日に姫路市と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結し、姫路市を中心とする播磨圏域の8市8町で連携中枢都市圏として圏域事業を実施し、新たな広域連携を図っていきます。

●問い合わせ先 企画広報課 ☎43・6867

「連携中枢都市圏構想」は、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適な暮らしを営んでいくことができるよう、地域において、圏域の中心都市と近隣市町が連携してコンパクト化とネットワーク化により「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービス」の向上を行うことにより、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的としています。

人口減少社会の危機に直面する中で、播磨圏域の市・町が対等協力の立場で団結し、「播磨圏域の経済の活性化」、「圏域の魅力の向上」、「住民に安心・快適な圏域づくり」に取り組み、播磨圏域の「地方創生」を進めていきます。

連携中枢都市圏の形成を目指して

人口減少社会への対策は早ければ早いほど効果があるとされています。大都市への人の流れを変えることで、播磨圏域が「人口減少」の防波堤となるよう、「連携中枢都市圏構想」に基づく連携事業を進めていきます。そして、播磨に新たな種を「播」き、豊かな地域資源にさらに「磨」きをかけて、播磨圏域の活性化を図っていきます。

